

検証候補地 (災害応急復旧技術)

平成27年5月

検証候補地

○本公募において、公募時点では以下の現場を検証候補地として予定しています。

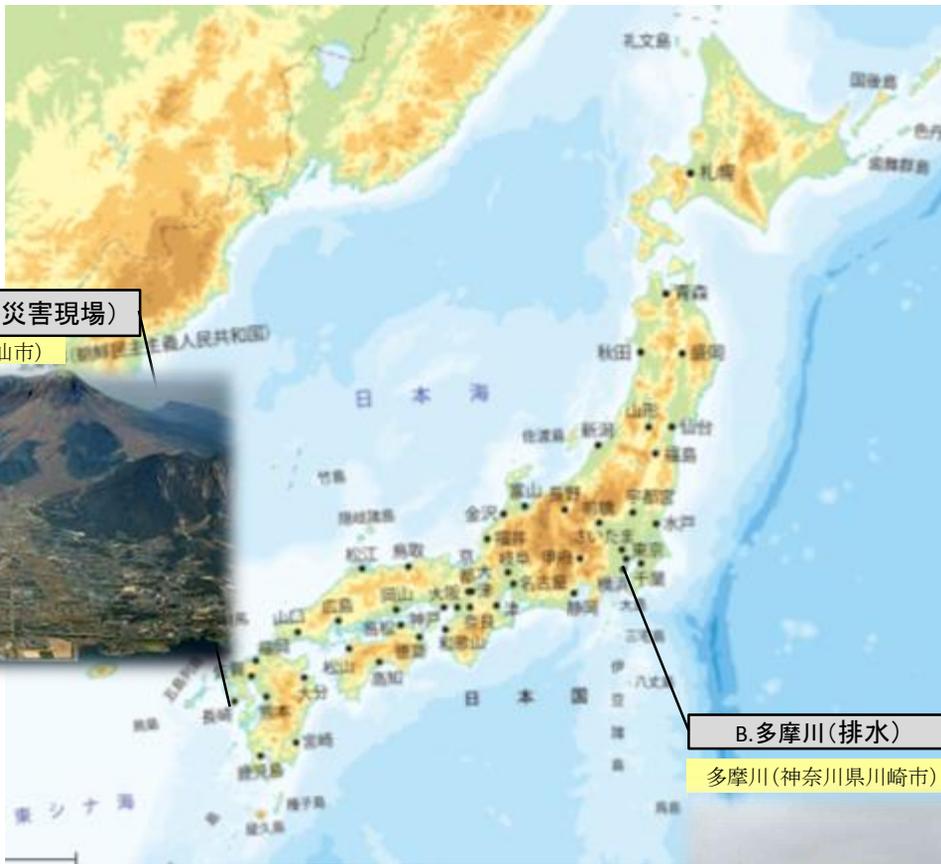
○ただし、応募者からの提案及び費用等を踏まえた協議を経て、ここに挙げる検証候補地以外の検証現場やその他の試験施設等により検証を実施する可能性があります。

【様式への記載事項】

- ▶応募者は、応募時点でここに挙げる検証候補地から検証を希望する場所を選び、様式-B-2「技術概要書」の「現場検証に関する事項」の「4. 検証場所に関する提案」に、A～Bの記号で記載してください。なお、選んだ検証候補地で検証する際、施設利用、運搬、設置、費用に関する条件等がある場合は、併せて記載してください。
- ▶応募者は、応募技術の特性を把握するため、前項で記載した場所における検証方法について提案をすることが出来ます。提案する場合は、様式-B-2「技術概要書」の「現場検証に関する事項」の「5. 検証方法に関する提案」に記載してください。

【災害応急復旧ロボット 検証候補地】

- A.雲仙普賢岳(火山災害).....公募技術[1][2][3]
- B.多摩川二ヶ領宿河原堰(排水).....公募技術[2]



A.雲仙普賢岳(火山災害現場)

雲仙普賢岳(長崎県雲仙市)



B.多摩川(排水)

多摩川(神奈川県川崎市)



次世代社会インフラ用ロボット開発・導入に係る検証候補地 災害応急復旧技術（火山災害）

■ 検証現場

A. 雲仙普賢岳（長崎県島原市、南島原市、雲仙市）

※別添図面参照

■ 検証現場概観



位置図



検証候補地

平面図



検証予定箇所

A. 雲仙普賢岳（長崎県島原市、南島原市）

http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/sabo_index.html

B. .多摩川（神奈川県川崎市）

http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index002.html

更新履歴

・20150528 p.1 公募技術番号及び位置図の訂正